

氏名	浜 家 一 雄
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 218 号
学位授与の日付	昭和42年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科病理系病理学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	アデノウイルス12型の発癌に関する病理組織学的研究 新生仔ハムスターへの脳内接種実験 第1報 ハムスター腫瘍の発生状態について 第2報 接種後の経時的観察及びその中枢神経系における母細胞の検討 第3報 ハムスター脳腫瘍とヒトの髄芽細胞腫との類似性について
論文審査委員	教授 小川 勝 士 教授 村 上 栄 教授 妹尾左知丸

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

1962年、ヒトのアデノウイルス12型 (AV-12) がハムスターの新生仔に高率に腫瘍を発生せしめる事実が明らかにされた。小川教授らはその組織像の解析から、発生母細胞は神経外胚葉性のものであるという見解をとっている。この知見に基づいて、著者はハムスター中枢神経系特に脳内の AV-12 による発癌を病理組織学的に検討した。その結果、脳内腫瘍は62匹中12匹に生じ、その組織像は腹腔内又は皮下接種のそれとほぼ同一であり、定型的な柵状配列を示す上皮性性格を有していた。その発生部位は主に脳膜部と脳質上衣下であり、少数例に脳実質内に腫瘍を認めるものもあった。その際予想される腫瘍の発生母細胞としては、脳膜ではそこに分布する末梢神経枝の鞘細胞、上衣下では同部の胎生期に近い未熟な細胞脳実質内では動脈壁の神経叢内のシュワン細胞か又は実質中の未熟な胎生期の神経細胞が挙げられる。又、ハムスター脳腫瘍はその組織像及び予想される母組織よりヒトの髄芽細胞腫との類似が強く推定される。

(細胞核病理学雑誌 11(1), 23, 1966)

論文審査の結果の要旨

本研究はアデノウィルス12型を新生仔ハムスターの脳内に接種し，中枢神経系に於ける発癌状態を経時的に追及した。脳内腫瘍は12/62匹に発生し，その組織像には末梢神経領域に発生した腫瘍のそれと同様の特徴を認め，発生部位は脳膜と脳室上衣下であった。これらの所見は本腫瘍の発生母細胞の解明に重要な示唆を与えるものである。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。